

「横浜みどりアップ計画」地域緑のまちづくり

## 野毛本通り地区 地域緑化計画書

計画名：野毛にぎわい緑化計画

推進団体名：野毛本通り・野毛こうじみどりアップの会



この地域緑化計画書は、公開します。

地区の範囲



<p>計画期間</p>	<p>令和6年度 ～ 令和8年度</p>
<p>計画の目標</p>	<p>《提案計画の目標》          緑と花を通して人と地域のにぎわいを創る</p> <hr/> <p>&lt;具体的な目標&gt;</p> <p>① ゴミの散乱やポイ捨ての無い緑と花のあるきれいなまちづくり。          花や緑を活かして野毛本通りを中心に緑化を進めることで、まちの美化を進めます。</p> <p>② 地域住民と店舗同士の交流を図り、まちの担い手をつくる。          緑化活動を通じて、店舗同士の交流だけでなく、地域住民や来街者との接点を創り、まちの新たな担い手として美化と目の行き届く防犯意識の向上を目指します。</p> <p>③ 培われた街の味わいを踏まえて野毛ならではの景観をつくる。          古き良き町の雰囲気のある、野毛本通り・野毛こうじ並びに横浜のシンボルロードである（よこはま道）ならではの景観をつくる。</p>
<p>目標達成のための方法および地域にもたらす効果</p>	<p>① 提案          歩道に面した民有地の緑化          活動          水やりや花殻摘みなど日常のメンテナンスや維持管理を行う          効果          公有地の緑化と連携した緑化を行い、環境美化により、ゴミやポイ捨ての無いキレイな街を意識させる。</p> <p>② 提案          街の担い手をつくる。          活動          店舗軒先の緑化          効果          一体感を持った緑化を行うことで連帯感と興味、関心をより感じてもらう。</p> <p>③ 提案          野毛ならではの景観をつくる。          活動          歩道上の緑化・ゲート緑化          効果          花と緑を増やし緑化を行うことで、野毛の景観を活かしたキレイなまち、野毛を定着させる。</p>

<p>組織づくり</p>	<p>●目標に根ざした自立した組織づくり。  地域住民をはじめ、商店街の加盟店舗（約100店舗）の賛同と協力を元に、事業目標にフォーカスし、それぞれのメンバーと組織が知識や意欲を習得し、自立した組織づくりを目指します。  既に植栽や花の手入れを行える知識のあるメンバーも存在しますので、専門家による勉強会なども行いながら地域の活動として環境を作り上げ、予算の活用と地域住民や店舗の積極的な参加を促し継続的な活動をして参ります。</p>
<p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p>	<p>&lt;民有地緑化&gt;  ・植栽可能な民有地や既にある花壇付近には季節の花や緑を植え、くすの木広場や歩道の街路樹の下に新たな花壇を増設する。  ・メインの通りである野毛本通りと野毛こうじに面する住宅や商店の敷地内、玄関前や公共性のある場所に統一した緑化整備（低木や宿根草をメインとして植栽後も維持管理に協力を得られやすいようにする）を行い、ゴミのポイ捨てが起きづらい環境をつくる。  （※具体的な整備予定箇所は「緑化計画図」に記載）</p> <p>&lt;地域緑化活動&gt;  ・緑化整備したプランターや花壇への水やりの分担や、植替えイベントを開催し、交流の少ない店舗同士や地域住民にも参加を呼びかけ、新たな交流と団結力を創り、まちの担い手をつくる。  ・花と緑の維持管理を行い、新しいメンバー等に指導できる知識と交流を得るため、寄せ植えや植栽管理の研修会を開催して技術の習得を行う。  ・緑化活動中にメンバーが使用するビブスを作成し、活動のPRを図る。  ・広報誌を年2回発行する。  ・野毛のメインストリートである野毛本通りでは、古くから神社やお寺の参道でもある野毛道であり、下町ならではの景観と、花と緑を融合させた美しい景観を特色として、“きれいな街野毛”として、PR活動を行う。</p>
<p>計画期間終了後の活動について</p>	<p>・継続した活動ができるようにエリア内の商店街や地域住民が協力してハマロード・サポーターや推進団体にも加盟して、苗や植物の維持と管理、推進活動を行う。  ・周辺地域、約300世帯に向けた事前アンケートにより本事業への関心が高い事が分かり、活動のPRや報告を積極的に行いながら参加者を更に募ります。  ・専門家を交えたマニュアルの作成や講習会、発表会を行い担い手の育成と自主的、自立した意欲と知識の形成を行う。</p>
<p>資金計画</p>	<p>・緑化整備事業の整備費、自己負担分については、商店街の定例会でも説明を行い、同意・賛同のため原則、施工エリアの商店街の負担で実施を行います。  ・活動期間中の活動資金としてPR活動を通して寄付金や協賛金を募り、協定終了後の活動資金としての積立も行います。</p>

計画年次	計 画 内 容
<p>1年度目 (令和6年度)</p>	<p>&lt; 1年度目 (令和6年度) &gt;            民有地緑化 ↓各ブロック内数カ所            ●民1 歩道に面した民有地の緑化 計10カ所程度            (民有地の敷地内に設置 ※店舗所有者・同意済み)            ●民2 店舗軒先の緑化 計10カ所程度            (野毛こうじのポールや店舗・軒先への設置)            地域緑化活動            ●広報活動 WEBページの作成・広報紙の作成・SNSの作成など            ●勉強会 書籍の購入や専門家を交えて勉強会・講習会を開催(プランターの植栽・コケ玉の製作、維持管理など)            ●維持管理等 剪定、植え込み用、花殻摘みなどに必要になる資材や関連備品の購入</p>
<p>2年度目 (令和7年度)</p>	<p>&lt; 2年度目 (令和7年度) &gt;            民有地緑化            ●民1 歩道に面した民有地の緑化 計10カ所程度            (民有地の敷地内に設置 ※店舗所有者・同意済み)            ●民2 店舗軒先の緑化 計20カ所程度            (野毛本通り 形状に合わせた専用の金具で設置)            公有地緑化            ●公1 歩道上の緑化 計30カ所程度            (野毛本通りの歩道上にプランターを設置します)            ●公2 ゲート緑化施工予定箇所の一部エリアを実施(野毛本通り入り口のゲート)            ●公3 協働の緑化 (中土木事務所と協議し、ハマロードサポーターの意見をとり入れた緑化整備を目指す)            地域緑化活動            ●広報活動 WEBページの作成・広報紙の作成・SNSの作成            ●勉強会 書籍の購入や専門家を交えて勉強会・講習会を開催(プランターの植栽・コケ玉の維持管理など)            ●維持管理等 剪定、植え込み用の花や緑の苗、花殻摘みなどに必要になる材料や資材の購入</p>
<p>3年度目 (令和8年度)</p>	<p>&lt; 3年度目 (令和8年度) &gt;            民有地緑化            ●民1 歩道に面した民有地の緑化(民有地の計10カ所程度に設置 ※店舗所有者・同意済み)            ●民2 店舗軒先の緑化 計20カ所程度            (野毛本通り 形状に合わせた専用の金具で設置)            公有地緑化            ●公1 歩道上の緑化 計30カ所程度            (野毛本通りの歩道上にプランターを設置します)            ●公2 ゲート緑化 施工予定箇所の一部エリアを実施(野毛本通り入り口のゲート)            ●公3 協働の緑化 (中土木事務所と協議し、ハマロードサポーターの意見をとり入れた緑化整備を目指す)            ●公4 クスノキ広場の設計・緑化 (中土木、都市整備局、JRAと協議の上、既存の環境を考慮した設計と緑化を行う。)            地域緑化活動            ●広報活動 WEBページの作成・広報紙の作成・SNSの作成など            ●勉強会 書籍の購入や専門家を交えて勉強会・講習会を開催(プランターの植栽・コケ玉の維持管理など)            ●維持管理等 剪定、植え込み用の花や緑の苗、花殻摘みなどに必要になる材料や資材の購入</p>
<p>創意工夫</p>	<p>●野毛の町並みや店舗の特徴を生かした杉玉を模した苔玉(ハグポール)            ●商店街、通勤通学路でもある歩道上の余地を活用して、プランター等による緑化を行うため、より多くの人に影響がある事業である。            ●PRにより多くの人の賛同と参加を募り、継続的かつ長期的な維持管理が出来る環境が整っている。            ●飲食店が多いエリアのため夜の街のイメージが強く、子供から大人まで安心して楽しめる安心安全な明るい町のイメージを野毛本通りから発信し、今後も継続して取り組んでまいります。</p>



# 緑と花を通して人と地域のにぎわいを創る

## 公1 歩道上の緑化（公有地緑化）

★エリア

- A-Kの各ブロック、図の位置付近にプランターを設置
- 設置したプランターに植物を植え、緑化を行います。
- ※中土木事務所と協議の上、消火栓や歩道の余地などの制約を遵守いたします。



## 公2 ゲート緑化（公有地緑化）



## 公3 協働の緑化（公有地緑化）

- みどりアップ事業で街路樹や植樹の魅力アップ
- 中土木・市・商店街とも連携し緑化の整備を目指す。
- ※ハマロード・サポーターの意見も取り入れて緑化に活かす。

## みんなで創る花と緑のまちづくり。

- 花や緑を活かして野毛本通りを中心に緑化を進めることで環境の整備ときれいなまちづくり。
- 地域住民と店舗同士の交流を図り、まちの担い手をつくります。
- 緑化活動を通じて、店舗同士の交流だけでなく、地域住民や来街者との接点を創り、まちの新たな担い手として環境美化と目の行き届く防犯意識の向上を目指します。
- 野毛本通り・野毛こうじならではの古き良き町の雰囲気と花と緑がマッチした景観をつくる。

## 野毛にぎわい緑化計画



## 民1 歩道に面したの民有地の緑化

★エリア

- 図の位置付近にプランターを設置
- 設置したプランターに植物を植え、緑化を行います。
- ※地権者及びテナントと協議の上、制約を遵守いたします。

★管理

- 設置店舗や住民を含む管理者を置きブロックごとに維持・管理を行います。
- 水は店舗の外水栓、商店街の水栓を借受けします。



## 民2



## 店舗軒先の緑化（民有地緑化）

- エリア内の店舗約60店舗の軒先にハングボール（コケダマ）を設置します。

民有地の緑化にその杉玉の伝統をコケ玉（ハンギングボール）で緑化し下町野毛を表現します。野毛のエリア内の店舗、約60店舗の軒先に飾り、地域の特徴を植物で表現した「野毛玉」と名付けます。

概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（令和6年度）	2年度目（令和7年度）	3年度目（令和8年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	0	0	600	600	100%以内	
		(主な内容)	(主な内容)	(主な内容) ●公4 クスノキ広場の設計			
	②緑化整備等経費 (注2)	990	5,855	5,955	12,800	90%以内	
		(主な内容) ●民1 歩道に面した民有地の緑化 ●民2 軒先の緑化	(主な内容) ●民1 歩道に面した民有地の緑化 ●民2 軒先の緑化 ●公1 歩道上の緑化 ●公2 ゲート緑化 ●公3 協働の緑化	(主な内容) ●民1 歩道に面した民有地の緑化 ●民2 軒先の緑化 ●公1 歩道上の緑化 ●公2 ゲート緑化 ●公3 協働の緑化 ●公4 クスノキ広場の緑化			
	合計額 (注9)	概算事業費 990 (助成見込額) 891	概算事業費 5,855 (助成見込額) 5,269	概算事業費 6,555 (助成見込額) 5,959	13,400 12,119		
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内	
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)	
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/ 本)
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/ 本)
	合計額 (注9)	概算事業費 0 (助成見込額) 0	概算事業費 0 (助成見込額) 0	概算事業費 0 (助成見込額) 0	0 0		
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	50	100	100	250	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	100%以内
	②広報・研修費	280	460	460	1,200		100%以内
	③事務費	30	100	100	230		100%以内 (上限100千円/ 年度)
	④諸雑費	40	40	40	120		100%以内 (上限40千円/ 年度)
	合計額 (注9)	概算事業費 400 (助成見込額) 400	概算事業費 700 (助成見込額) 700	概算事業費 700 (助成見込額) 700	1,800 1,800		
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)	概算事業費 1,390 (助成見込額) 1,291	概算事業費 6,555 (助成見込額) 5,969	概算事業費 7,255 (助成見込額) 6,659	15,200 13,919	助成見込額の3年度の 総合計が15,000千円以内		

(記入時の注意事項)

注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費および予定金額を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。

注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）

注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。

注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。

注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）

注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。

注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）

注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）

注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。